

[2021年12月22日発売]

長袖とヘッドフォン

加藤 勝 著／四六判／本文240頁(1色刷)／上製／定価1,980円(本体1,800円)

作家 斎藤 純氏、推薦

文芸王国岩手に、
また新たな才能が誕生した。

ありふれた日常を切り取った青春小説と思わせておいて、周到に組み立てられたストーリーが展開する。

そんな加藤ワールドに、読者は知らず知らず引き込まれていくだろう。

私は読後、純度の高いチョコレートに似たホロ苦さを感じつつ、満たされた笑みを浮かべていた。



「お父さんは、お兄ちゃんと私に勉強とか世の中の厳しさとか、たくさんのお話を教えてくれたけど、一番大事なことは教えてくれなかった」「一番大事なことは？」教授が言った。「自分を好きになるってこと」

——『長袖とヘッドフォン』

心の奥に響く五編の物語

「北の文学」75号(岩手日報社)

優秀作『ピンク』を含む

待望の短編集。

収録作品

長袖とヘッドフォン

いつも長袖のブラウスを着ている女子高生といつもヘッドフォンを付けている兄。そこに隠された真実。重層する登場人物が織りなす再生の物語。

ピンク

ある日、別れた妻から突然切り出された娘への生体肝移植ドナーの依頼。揺れ動く心理と娘への思いを端正な文章で綴った傑作。

バスガス爆発

母親から虐待を受ける直人少年と韓国人少年との奇妙な絆。共犯的な関係を経て離れ離れになり、空手家に成長した直人が知ったこととは…。ビルドゥングスロマンの短編。

二宮さんの手紙

東日本大震災後の宮古市を舞台に、ひとりの写真家と青年との関係を軸に物語は進む。やがてふたりは悲しい現実と向き合いながらも、回復に向け歩み出す震災小説。

幻想即興曲

亡くした母に屈折した思いを抱きながら古書店でアルバイトを始めた朝香。一冊の本を通し、秘められた事実が浮かび上がる。絵画的文章描写が冴える短編。

[著者紹介]

加藤 勝

かとう まさる

岩手県生まれ。2014年『優勝カップに味噌汁』で「北の文学」69号入選。以後、同誌において6回連続入選ののち、2017年『ピンク』で「北の文学」75号優秀作に選ばれる。岩手県滝沢市在住。

貴店番線印		注文数	エンジェルパサー	日本文学／小説
ご注文欄			<h1>長袖とヘッドフォン</h1> <p>加藤 勝 著／四六判／本文240頁／上製</p>	
			定価1,980円(本体1,800円)	
	ご担当	様	冊	ISBN 978-4-9908969-6-6 C0093

発行元へのお問い合わせ：株式会社エンジェルパサー

〒985-0835 宮城県多賀城市下馬5-11-6 Tel.022-385-5080 Fax.022-385-5077 E-mail:info@angelpasser.com

ご注文はJRCへ ▶ Fax.03-3294-2177 Tel.03-5283-2230

*JRC経由ですべての取次への出荷が可能です。返品は長期に承ります(返品条件付き注文扱い)